

「ゲームプログラマー」

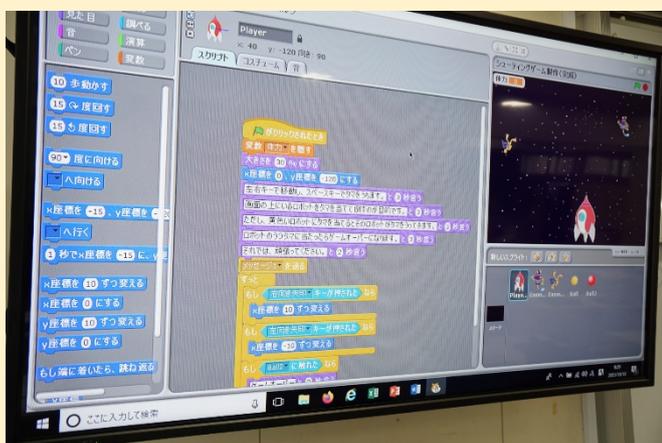


シューティングゲームをつくろう！

ゲームをつくる人、「ゲームプログラマー」になって楽しいシューティングゲームをつくる仕事をします。

ゲームをつくるためのソフトであるScratch(スクラッチ)を使い、シューティングゲームをつくりま

〇体験できること



1. プログラムの作成

はじめはシューティングゲームの全体的な仕組みを確認し、キャラクターの見た目や移動速度の変更などの簡単な操作から覚えます。

操作に慣れてきたら、画面の左側からブロックを配置して実際にゲームのプログラムをつくりま



2. テストプレイ

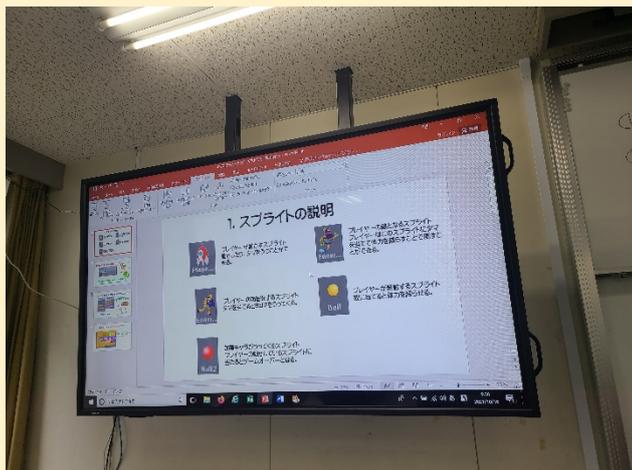
ゲームが完成したら、実際に遊んでみましょう。

遊んでいる途中で、不具合が発生したり、難易度が高すぎると感じたりした場合は、それを直すのもゲームプログラマーの仕事です。

おすすめポイント

- 誰でも簡単にオリジナルのゲームをつくることができる。
- どのようにしたら面白いゲームをつくれるか考えることができる。
- プログラムの基礎を学ぶことで、ゲームはどのようにしてつくられているのかが分かる。

○体験の様子



(シューティングゲームの仕組みの説明をする様子)



(プログラムの組み立て方を教えている様子)



(実際のゲームのプレイ画面)



(クリアすると敵が「やられたー」といいます)



担当者からのメッセージ

実際にゲームをつくる人の立場になって仕事をする中で、ゲームがどのようにしてつくられているか、どうすれば面白いゲームをつくることできるかなどを学びきっかけになります。

また、今回使用した Scratch というソフトは、家庭用のパソコンにも無料でダウンロードすることができるので、ぜひ家でもゲームをつくってみてください。